

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社

コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤原 信義

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 満田 光信

TEL 079-235-6005

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|--------|---|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第2四半期 | 38,336 | △61.3 | △7,405 | — | △7,134 | — | △4,454 | — |
| 21年3月期第2四半期 | 98,972 | — | 7,381 | — | 7,257 | — | 3,628 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | △27.59 | — |
| 21年3月期第2四半期 | 22.38 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 149,367 | 83,739 | 55.8 | 516.20 |
| 21年3月期 | 147,778 | 87,027 | 58.6 | 536.49 |

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 83,332百万円 21年3月期 86,611百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 4.00 | — | 1.00 | 5.00 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | — | — |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では3月31日(期末日)を基準日とする配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご覧ください。)

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-------|------|-------|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 105,000 | △35.5 | 300 | △94.2 | 500 | △89.6 | 300 | — | 1.86 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 167,124,036株 21年3月期 167,124,036株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 5,687,251株 21年3月期 5,683,993株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 161,441,539株 21年3月期第2四半期 162,103,275株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。予想には様々な不確実な要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。)

3月31日(期末日)を基準日とする配当につきましては、先行きの需要環境が極めて不透明なことから、現時点では具体的な金額は未定であります。配当予想額につきましては、今後の需要動向を見極めつつ検討を行い、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）のわが国経済につきましては、昨年央以降の、米国の金融問題に端を発する世界同時不況を背景として、期の前半は、内外需要の急減、それに伴う生産減による企業収益の悪化や設備投資の減少など、誠に厳しい状況で推移いたしました。期の後半においては、各国政府の経済対策の効果や、各分野における在庫調整の進展により、需要・生産とも持ち直して参りましたが、他方で失業率が過去最高水準となるなど、景気は引き続き、楽観を許さない状況にあります。

特殊鋼業界におきましては、主要需要業界のうち、自動車業界においては、エコカー減税等の好影響により若干回復の兆しをみせましたが、産業機械、建設機械業界については、引き続き受注・生産が、極めて低い水準で推移したことから、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産は、前年同期を大きく下回る水準となりました。

このような中、当社グループの売上高につきましては、販売数量の大幅な減少により、前年同期比606億35百万円減の383億36百万円となりました。

利益面におきましては、コストダウンの実施に注力したものの、販売数量の大幅な減少により、経常損益は71億34百万円の損失（前年同期は72億57百万円の利益）となりました。四半期純損益につきましては、44億54百万円の損失（前年同期は36億28百万円の利益）となりました。

事業セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

鋼材事業

昨年秋口以降、急激に落ち込んだ需要は、期の後半になって、ようやく一部回復の兆しがみられましたものの、期全体では低い水準で推移いたしました。これによる販売数量の減少により、売上高は371億27百万円（前年同期比576億5百万円減）となりました。営業損益につきましては、コストダウンの実施に注力したものの、販売数量の減少などにより65億41百万円の損失（前年同期は68億14百万円の利益）となりました。

素形材事業

鋼材事業と同様、販売数量の減少により、売上高は45億30百万円（前年同期比52億67百万円減）となりました。営業損益につきましては、販売数量の減少などにより8億80百万円の損失（前年同期は5億22百万円の利益）となりました。

その他事業

子会社を通じて、情報処理サービスを行っており、売上高は4億33百万円（前年同期比10億21百万円減）、営業利益は3百万円（前年同期比54百万円減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産残高は、現金及び預金、たな卸資産などの減少があったものの、当第2四半期連結会計期間末に債権流動化を実施しなかったことによる受取手形及び売掛金の増加などにより、1,493億67百万円（前期末比15億88百万円増）となりました。

負債残高は、短期借入金、支払手形及び買掛金の増加などにより、656億28百万円（前期末比48億76百万円増）となりました。

純資産残高は、株式相場の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加があったものの、四半期純損失の計上などにより837億39百万円（前期末比32億88百万円減）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、各分野における在庫調整の進展に加え、各国の経済対策の効果、また、中国・インドを中心とする新興国の経済成長等により、若干の跛行を伴いつつも、徐々に回復に向かうものと考えられます。しかしながら、当面の間は、実体経済の水準そのものは低いレベルで留まるものと考えざるを得ず、特殊鋼の需要水準についても、従前の水準までの回復には時間を要するものと考えられます。このように当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くと思われま

こうした中、当社グループとしては、需要家ニーズへの的確な対応や、非価格競争力の強化に向けた取り組みにより一層注力することによって、こうした状況下でも堅調な分野の需要を確実に捕捉するとともに、コストダウンの更なる徹底等の内部努力や、鉄スクラップサーチャージ制度の拡充、確立など、高品質の特殊鋼を適切に供給出来る事業体制の構築について全社を挙げて推進し、企業価値の増大を図っていく所存です。

以上のことを総合的に勘案し、通期の業績予想につきましては、売上高1,050億円、営業利益3億円、経常利益5億円、当期純利益3億円といたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部を除いて実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的に算出する方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,477 | 22,474 |
| 受取手形及び売掛金 | 27,554 | 14,439 |
| 商品及び製品 | 5,739 | 7,309 |
| 仕掛品 | 15,244 | 18,129 |
| 原材料及び貯蔵品 | 11,887 | 13,926 |
| 未収還付法人税等 | 3 | 906 |
| その他 | 5,985 | 3,883 |
| 貸倒引当金 | △64 | △91 |
| 流動資産合計 | 78,828 | 80,977 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 33,380 | 30,928 |
| その他(純額) | 23,373 | 23,775 |
| 有形固定資産合計 | 56,754 | 54,703 |
| 無形固定資産 | 927 | 997 |
| 投資その他の資産 | 12,856 | 11,100 |
| 固定資産合計 | 70,538 | 66,801 |
| 資産合計 | 149,367 | 147,778 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,474 | 5,025 |
| 短期借入金 | 31,841 | 28,496 |
| 未払法人税等 | 53 | 154 |
| 賞与引当金 | 1,727 | 1,736 |
| その他 | 9,511 | 9,175 |
| 流動負債合計 | 49,607 | 44,588 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 14,042 | 14,079 |
| 退職給付引当金 | 963 | 865 |
| 役員退職慰労引当金 | 96 | 96 |
| 環境対策引当金 | 376 | 376 |
| その他 | 541 | 744 |
| 固定負債合計 | 16,020 | 16,162 |
| 負債合計 | 65,628 | 60,751 |

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 20,182 | 20,182 |
| 資本剰余金 | 22,592 | 22,592 |
| 利益剰余金 | 41,252 | 45,869 |
| 自己株式 | △1,728 | △1,726 |
| 株主資本合計 | 82,299 | 86,918 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,401 | 181 |
| 為替換算調整勘定 | △368 | △488 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,033 | △306 |
| 少数株主持分 | 406 | 416 |
| 純資産合計 | 83,739 | 87,027 |
| 負債純資産合計 | 149,367 | 147,778 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 98,972 | 38,336 |
| 売上原価 | 85,519 | 41,541 |
| 売上総利益又は売上総損失(△) | 13,452 | △3,204 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,071 | 4,200 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 7,381 | △7,405 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 16 | 23 |
| 受取配当金 | 142 | 57 |
| 為替差益 | 137 | — |
| 助成金収入 | — | 479 |
| その他 | 122 | 164 |
| 営業外収益合計 | 418 | 725 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 282 | 294 |
| その他 | 259 | 159 |
| 営業外費用合計 | 542 | 453 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 7,257 | △7,134 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 43 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 37 | 27 |
| 特別利益合計 | 81 | 27 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 283 | 282 |
| 減損損失 | 68 | — |
| 投資有価証券評価損 | 631 | 80 |
| ゴルフ会員権売却損 | 0 | 0 |
| ゴルフ会員権評価損 | 36 | — |
| 特別損失合計 | 1,021 | 363 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 6,317 | △7,470 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,834 | 14 |
| 法人税等調整額 | △196 | △3,002 |
| 法人税等合計 | 2,638 | △2,987 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 51 | △27 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 3,628 | △4,454 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）（単位：百万円）

| | 鋼材 | 素形材 | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|---------------------------|--------|-------|-------|---------|-----------|--------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 88,867 | 9,798 | 306 | 98,972 | — | 98,972 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 5,865 | — | 1,149 | 7,014 | (7,014) | — |
| 計 | 94,732 | 9,798 | 1,455 | 105,986 | (7,014) | 98,972 |
| 営業利益 | 6,814 | 522 | 58 | 7,395 | (14) | 7,381 |

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）（単位：百万円）

| | 鋼材 | 素形材 | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|---------------------------|--------|-------|-----|--------|-----------|--------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 33,770 | 4,530 | 35 | 38,336 | — | 38,336 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 3,356 | — | 398 | 3,755 | (3,755) | — |
| 計 | 37,127 | 4,530 | 433 | 42,091 | (3,755) | 38,336 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △6,541 | △880 | 3 | △7,418 | 12 | △7,405 |

(注) 1. 事業区分の方法

製品の種類、製造方法、販売方法等の類似性を勘案し、事業区分を行っております。

2. 各区分に属する主要な製品および役務

- (1) 鋼材 …… 特殊鋼鋼材、特殊鋼鋼管、金属粉末製品
- (2) 素形材 …… 型鍛造品、熱間転造品、冷間転造品、旋削品、鋼管切断品
- (3) その他 …… 情報処理サービス

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）および

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

| | アジア | 北米 | 欧州 | その他 | 計 |
|------------------------------|--------|-------|-------|-----|--------|
| I 海外売上高 | 12,877 | 2,782 | 1,790 | 119 | 17,569 |
| II 連結売上高 | | | | | 98,972 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 13.0 | 2.8 | 1.8 | 0.1 | 17.7 |

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日) (単位:百万円)

| | アジア | 北米 | 欧州 | その他 | 計 |
|------------------------------|-------|-----|-----|-----|--------|
| I 海外売上高 | 4,664 | 502 | 342 | 44 | 5,553 |
| II 連結売上高 | | | | | 38,336 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 12.2 | 1.3 | 0.9 | 0.1 | 14.5 |

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国または地域
 (1) アジア …… 台湾、韓国、中国、タイ
 (2) 北米 …… 米国
 (3) 欧州 …… ドイツ、ノルウェー
 3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

平成22年3月期 第2四半期決算発表

<連結>

1. 当第2四半期の業績と通期の予想

(単位：百万円、%)

| | 当第2四半期 (実績) | 前第2四半期 (実績) | 増減額 | 増減率 | 通期 (予想) | 前期 (実績) | 増減額 | 増減率 |
|---------------|-------------------|----------------|--------------------|-------|--------------|----------------|------------------|-------|
| 売上高 | 38,336 | 98,972 | △60,635 | △61.3 | 105,000 | 162,734 | △57,734 | △35.5 |
| 営業利益 | △7,405 | 7,381 | △14,786 | — | 300 | 5,148 | △4,848 | △94.2 |
| 経常利益 (ROS) | △7,134 (△18.6) | 7,257 (7.3) | △14,391 (△26.0) | — | 500 (0.5) | 4,799 (2.9) | △4,299 (△2.5) | △89.6 |
| 四半期(当期)純利益 | △4,454 | 3,628 | △8,083 | — | 300 | △1,022 | 1,322 | — |

| | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-----|-----|--------|-------|-------|------|
| 設備投資 | 6,402 | 6,183 | 218 | 3.5 | 13,000 | 9,862 | 3,138 | 31.8 |
| 減価償却費 | 4,363 | 4,326 | 36 | 0.9 | 9,500 | 8,933 | 567 | 6.3 |

2. 当第2四半期の経常利益増減要因(対前第2四半期)

(単位：億円)

| 増 益 要 因 | | 減 益 要 因 | |
|---------------|-----|---------------|------|
| 1. 原燃料価格の下落 | 82 | 1. 販売数量・価格・構成 | 226 |
| 2. 変動費のコストダウン | 21 | 2. 連結子会社の利益減等 | 17 |
| 3. 固定費のコストダウン | 1 | 3. その他 | 18 |
| 4. 営業外損益の改善 | 2 | | |
| 5. 棚卸資産評価損の戻入 | 11 | | |
| 計 (A) | 117 | 計 (B) | 261 |
| | | 差引 (A) - (B) | △144 |

(参考)業績の推移

(単位：百万円、%)

| | 19年3月期 第2四半期 | 20年3月期 第2四半期 | 21年3月期 第2四半期 | 22年3月期 第2四半期 | 19年3月期 通期 | 20年3月期 通期 | 21年3月期 通期 | 22年3月期 通期(予想) |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|------------------|-----------------|----------------|------------------|
| 売上高 | 68,106 | 81,878 | 98,972 | 38,336 | 142,375 | 168,422 | 162,734 | 105,000 |
| 営業利益 | 9,205 | 7,436 | 7,381 | △7,405 | 18,189 | 13,903 | 5,148 | 300 |
| 経常利益 (ROS) | 9,122 (13.4) | 7,108 (8.7) | 7,257 (7.3) | △7,134 (△18.6) | 17,946 (12.6) | 12,980 (7.7) | 4,799 (2.9) | 500 (0.5) |
| 四半期(当期)純利益 | 5,158 | 4,005 | 3,628 | △4,454 | 8,664 | 7,232 | △1,022 | 300 |

| | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 設備投資 | 4,190 | 3,663 | 6,183 | 6,402 | 8,333 | 7,634 | 9,862 | 13,000 |
| 減価償却費 | 2,841 | 3,491 | 4,326 | 4,363 | 5,933 | 7,454 | 8,933 | 9,500 |